

まるりん通信



発行 公益財団法人屋久島環境文化財団 電話 0997-42-2911

＼屋久島博物館ぐるり旅／

島の3つの博物館を巡るバスツアーを開催します！ぜひご参加ください！

- 日 時 令和3年1月16日(土) 13:00 集合 17:30 解散(予定)
- 対 象 島内在住の小学生及び保護者(小学4年生までは保護者同伴)
- 定 員 40名(先着順)
- 参加費 小学生 100円・大人 500円
- 申込期限 令和2年12月27日(日)まで
- 申込先 村センター ☎42-2900

※マスク着用など、感染対策の上でご参加ください。



☆ スタンプラリー実施中 ☆

2021 3/31(水) まで

◇3つの博物館でスタンプを集めて景品をゲットしよう！

対象施設：屋久島環境文化村センター(宮之浦)・屋久杉自然館(安房)・歴史民俗資料館(宮之浦)

○日本赤十字社 救命救急法講習会

内 容：応急手当の基本(人工呼吸や心臓マッサージ, AEDを用いた除細動など)

期 日：1月15日(金)

参加費：5,000円

※例年実施の救急員養成講習は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施いたしません。ご了承ください。

○屋久島ガイドセミナー

内 容：エコツーリズムの理念やガイドとしての基本的な知識・技術及び必要な資格など

期 日：1月28日(木)～29日(金)

その他：内容・参加費等の詳細は、財団HPをご覧ください。以下にお問い合わせください。

会 場：村センター

申込期限：12月25日(金)まで

参加申込・問合せ先：村センター ☎42-2900

令和2年度幼児環境教育推進事業

「屋久島こども森のあそび場」

屋久島在住の未就学児～小学校低学年までのお子さんと保護者の方を対象に自然体験プログラムを実施します。

○第1回 12/5(土) 実施済

○第2回

「焚火でほくほくやきいもの会」

日 時 1月17日(日) 9:00～15:00

○第3回

「ヤクスギの森どきどきたんけんの会」

日 時 2月6日(土) 9:00～15:00

○申込締め切り

第2回：1/8(金) 第3回：1/29(金)

○問合せ先 研修センター ☎46-2900

休館日

村センター 12/7(月), 12/14(月), 12/21(月), 12/28(月)～1/1(金), 1/12(火), 1/18(月), 1/25(月)

研修センター 12/7(月), 12/14(月), 12/21(月), 12/28(月)～1/4(月), 1/12(火), 1/18(月), 1/25(月)



インストラクターだより

『日本の流れ星は、幸運のしるし☆彗』

インストラクター：小泉 沙織（りん）

今年も残すところあと1ヵ月足らず。南の島の屋久島も少しずつ気温が下がり、季節はいよいよ冬へと向かっています。そして、1年の中で最も綺麗で美しい星空を眺めることのできる季節です。皆さんは、なぜ冬が1番綺麗に星を見ることができかご存知でしょうか。いくつか理由はありますが、1等星と呼ばれる明るい星が7個もあることや、気温や湿度が低くなり空気が澄むこと、季節風により空気中のちりや水蒸気が吹き散らされること等の理由で、他の季節より星座や流れ星が綺麗に見えるとされています。

流れ星といえば、“3回願い事を唱えたら願いが叶う”という有名な言い伝えが日本にはありますよね。願いが叶うとされるほど、流れ星は幸運のしるしです。しかし、国によって様々な言い伝えが存在しています。ある地域では、死を意味すると考えられていて、不吉なことや凶兆とされているそうです。

毎年12月の中旬頃に、三大流星群のひとつである「ふたご座流星群」が活発になります。2020年は12月4～17日まで出現して、14日頃に極大を迎えるそうです。今年は、極大の時間が日本で見やすい時間帯であることや、15日が新月で月明かりの影響がない好条件で星を眺めることができます。ふたご座の放射点はほぼ一晩中見られますが、流れ星は21時頃から良く見られます。

また、12月22～23日に「こぐま座流星群」が活発になります。天気の良い日は、たくさんの流れ星を見ることができのかもしれない。暖かい格好をして、冬の夜空を眺めてみてはいかがでしょうか？



財団活動報告

●秋の屋久島トレッキング (11/14)

11月14日に屋久島感動めぐり「～秋の屋久島トレッキング～」を実施しました。今回は、12名の方にご参加いただき、今年閉山50周年を迎える小杉谷集落跡地の散策を行いました。当日はあいにくの雨でしたが、参加者の方から「今まで見た中で1番美しい森を見ました」という声をいただきました。屋久島らしい雨の森と小杉谷集落での暮らしを感じられるセミナーとなりました。ご参加くださった皆様、ありがとうございました。



●アサギマダラマーキング会 (11/15)

コロナ禍の影響なのですが、人数を調整した上、募集を行いました。しかし、参加者の方もアサギマダラも負けることなく、明るい趣で触れ合うことができました。

例年に比べて数多く、屋久島に飛んできていたため、全員が採集することができ、笑顔を見ることができた良いセミナーとなりました。

『屋久島を想う』

～ノネコ？～ (後編)

事務局長兼副館長 高良尚男

世界自然遺産登録を目指す奄美地域では、希少動物（アマミノクロウサギなど）を襲うノネコが大きな問題となっています。ノネコはもともとペットとして飼われていたネコが、飼い主の都合によって捨てられることで生まれてしまう不幸なネコです。ノネコは生きるために、森の小型ほ乳類や鳥類、は虫類、両生類、昆虫類などさまざまな生き物（それが希少種なんてネコには関係ありません。）を食べてしまいます。ノネコの問題は、私たち人間の責任であり、動物愛護と希少種の保護（生態系の保全）の観点から極めて深刻な問題なのです。

西部林道で出会ったそのネコに、私は「ニャー」と語りかけてみました。彼（女）は「ニャー」と返してくれましたが、私が近づこうとするとスッと立ち上がり、きびすを返すと森の中へと消えていきました。ときどき後ろを振り返り「ニャー」と鳴きながら…。その寂しそうな後ろ姿を、私は今でも忘れることができないのです。



アマミノクロウサギを捕食するノネコ（環境省HPから）